

令和5年度 第3回大山崎町社会教育委員会議（報告）

I 日 時 : 令和5年12月7日(木) 午後3時30分～同5時5分

II 場 所 : 大山崎町役場 3階 中会議室

III 出席者 : 13名

○ 出席委員（5名）

○ 事務局（8名）

教育長・教育次長・学校教育課長・中央公民館長・歴史資料館長・体育館長・生涯学習スポーツ振興係リーダー・同係主任

IV 会議名 : 令和5年度第3回大山崎町社会教育委員会議

V 内 容 : 以下のとおり

【要点】

2件の議題（(1) 令和5年度社会教育委員会議関係事業報告について、(2) 令和5年度生涯学習課関係事業報告について）について、審議のうえ、いずれも承認された。

また、事務局から4件の報告を行った。

なお、傍聴希望者はなかった。

- | | |
|-----------|-----|
| 1 開 会 | 事務局 |
| 2 教育長あいさつ | 教育長 |
| 3 委員長あいさつ | 委員長 |

※ 大山崎町社会教育委員会議運営規則による会議成立の宣言（定足数を満たす5名の委員の出席を確認）

4 議 題

※ 以降の進行は委員長が担当

- | | |
|--|-----|
| (1) 令和5年度社会教育委員会議関係事業報告について | 事務局 |
| 事務局から令和5年度（8月16日～11月24日）の町社会教育委員会議に関する事業実績について報告 | |

* 質疑応答

<京都府社会教育研究大会について>

委員

会場の永守重信市民会館は、初めて行かせていただきましたが、とても綺麗なホールで、ちょっとうらやましいような気がしました。講演は「地域と学校の連携・協働」について、コミュニティ・スクールアドバイザーの先生から、社会教育委員としての役割や実効性などのお話があり、大変よいお話だったのですけれども、少し肩の荷が重くなるようにも感じました。その中で、コミュニティスクールについては、単に集まって話をするだけならもうやめた方がいいというお話もあり、やはり校長先生を中心として学校運営協議会を立ち上げないとなかなか難しい気がいたします。それから、「子どもをお客さんにしない」というお話もありました。たしかに、今は、手作りといってもほとんどでき上がっていて、子どもたちは貼り付けたり、絵を描くぐらいで出来あがってしまうようなものが多いと感じています。グループワークでは、一緒になった方から、南山城村と笠置町と和束町では、広域連合で地域学校協働協議会を立ち上げ、12名の委員に社会教育委員が2名か3名、小学6年生も2人入っているとのことでした。

委員

私も、講演については、言葉としては理解できましたが、聞くだけになってしまいました。その中で、「指示待ち人間」が多くなっているということをおっしゃっていました。指示すれば完璧にこなす人はたくさんいるが、自分が主体的になってやる人が少ない。これはやはり社会の変化によるものであると思います。今は情報化時代で、何か調べようと思えば簡単にスピーディーに情報を入手できる時代になり、失敗するとそれが違う形ではね返ってきてしまうため、二の足を踏んで指示を待つしかなくなっているような気がします。だから、指示を出す側が、「失敗していい」「責任は私にとるから自分の思う通りにやりなさい」と伝えれば、思い切ってやってやろうという気になり積極性に結びつくと私は思います。

私は今の若い人たちが、受け身の行動ばかりするとは思っていません。任せれば主体的にできると思っていますので、指示する側が「失敗してもいいからやりなさい」というような声を掛ければ、「指示待ち人間」などと言われなくなるのではないかと感じました。

委員

私も子どもたち向けの料理教室などで、保護者の方が何でも先にやってしまう場面によく出くわすことがあります。子どもは、本当はもっと自分から動きたいと思っているのではないのか、それを止めているのは大人ではないのかなと感じています。指示を待つほど楽なものはないし、それでいいと考える子どもや、そう思ってしまう子も出てきてしまうのではと心配しています。

子どもたちのもっと自分たちでやりたいと思う気持ちを摘んでしまっているの

り入れているとのことでした。また「人づくり三河内未来塾」の活動の紹介があり、自分たちが住んでいる三河内を知り、自分たちの暮らしを考える取り組みをされているということでした。

<近畿地区社会教育研究大会について>

委員

近畿地区の社会教育研究大会に初めて参加しました。社会教育に携わる各自治体の担当者、地元で活躍されているという方の集まりでした。

講演は、地域に住んでいる方たちの学びをどのように広げるか、行政がどのようにサポートしていくかというテーマで、地元で活躍する方が自由に活動できるようにサポートしていくのが大事ということでした。

分科会では、長岡京市と西山短期大学、立命館高校が連携した活動事例の報告がありました。私自身も携わっていますが、市役所の各課の職員が学校に出向き、行政課題について生徒たちとグループワークを行い、生徒等が課題解決に向けた事業を考えてプレゼンするという形で進められ、最後は生徒等が長岡京市長の前で発表し、市長が行政に生かすという活動が行われています。

大山崎町で同じように学校と連携できないか考えると、小学校であれば総合の授業の中で、例えば5・6年生が地域のどこが危ないか調べて役場職員と交流できれば、子どもたちの視野は広がり、学校でも良い発表ができるのではないかなと思います。中学校であれば、将来に向けて何をしたらいいのか意見を求めれば、生徒は考える力はあるので、そうした交流ができたらいいのではないかなと思います。町内に高校と大学はないのですが、例えば、「二十歳を祝う会」でピアールしてはどうかなと思います。学生らが「ときめきチャレンジ推進事業」やスポーツ体験などの活動を紹介したら、何かふるさとのために手伝ってくれるような気がします。

大山崎町の若い子たちが同窓会など何かしようと思おうとしたときに、町内に借りることができる場所が浮かばず、借りようとしても行事が入っていて、町外の施設を借りなければいけないということがありました。そのような場所を提供できれば、若い子たちが大山崎町の取り組みに参画してくれるのではないかなという気がします。

今回、いろんな参加者からもお話を聞くことができましたが、「地域とつなげていくことが大事だ」とおっしゃっていました。ただ、「きっかけづくりはみんなでやらなければ難しいね」と話し合いました。以上です。

<全国公民館研究集会、近畿公民館大会について>

委員

劇作家の平田オリザさんが講演され、広い視点からのお話がたくさんありました。

パネルディスカッションでは、島根県の隠岐の女子生徒が「私の中での公民館は馴染みのない場所、どこか役場と似ている場所というイメージを持っています。前

に住んでいた地区では、公民館で世代間交流をしていました。「元気です会」という名前で、月 1 回ほどその地区に住む方が集まってゲームやお茶を飲んだりして、世代を超えて笑いがあり、いろいろなお話が出て楽しかった思い出があります。私はこのような公民館が好きで、自分の住んでいる地域がより身近により好きになるきっかけになりました」という話をしてくれました。また、兵庫県の加古川の男子生徒は「今どきの高校生はめったに公民館に行きません。これまで行ったことすらない人も少なくないでしょう。私自身は小学校の 6 年間、公民館の書道教室に通っていましたが、中学校に進学して以来、1 回も行ったことがなかったです。それは公民館に行く理由がないからです。私たち高校生は公民館に興味がないのではなく、公民館に何があってどんなイベントがあるのかを知らないだけです。」と話してくれました。この 2 人の高校生の声に賛同する意見が非常に多かったです。

◎各委員が承認

- (2) 令和 5 年度生涯学習課関係事業報告について 事務局
事務局から令和 5 年度（8 月 16 日～11 月 15 日）の生涯学習課関係の事業実績について報告

* 質疑応答

< スポスイサタデーナイトについて >

委員

生涯学習スポーツ振興係の報告に 8 月 19 日のスポスイサタデーナイトは 49 名、9 月 30 日には 120 名と大変多く参加されていますけれども、具体的にはどのような内容で実施されたのですか。

事務局

毎回およそ 100 人の参加者があります。8 月 19 日の参加者が少ない理由は、夏休み期間中でしたので、開催日前に学校でチラシを配布することができなかつたためです。

< 第 59 回大山崎町民体育祭について >

委員

町民体育祭について、アンケートも実施し総括されたと思いますが、参加された 13 チームのうち企業で参加された割合を教えてくださいませんか。また、優勝された企業チームはどちらの企業ですか。

事務局

明確に企業と思われるのは 1 チームで、残りはお近所の集まりや放課後児童ク

ラブの保護者会で募って参加いただいたという状況でしたが、その1チームが優勝されました。企業で参加された場合、例えば、商工会の会員企業でしたら町内在勤者の集まりであることが明らかですが、その他企業については町内に営業所等があるかどうかまで確認できませんでした。一方、ご近所で参加されているチームに関しても、在勤者がいらっしゃるのか在住者なのかまで確認できていないので、参加申込時点で何をどこまで確認するのか、十分整理できていなかった点を反省しております。来年以降は何かしらの確認を行う必要があると思っております。

<大山崎町体育館の利用団体について>

委員

9月に早稲田摂稜高校が体育館を利用されていますが、どのように利用されているのですか。

事務局

茨木市に所在する早稲田大学の系属校である同校が、昨年頃からマーチングの練習のために利用されています。

<中央公民館の「夏の自習室」「子どもの自習室」について>

委員

中央公民館の「夏の自習室」は今回初めて実施されたとのことですが、参加者が23名ということで、内容としては部屋を開放するだけでしょうか。

また、「子どもの自習室」は過去にも実施されているとの報告でしたが、お盆の時期で参加者2名となっており、どのように捉えておられるのかお聞きしたいと思います。

事務局

子どもを対象にしました「子どもの自習室」は、おっしゃる通りお盆の時期、公民館の利用率が低い時に、子どもの自習のために無料開放するという趣旨で実施しました。参加者数につきましては、今年は台風のため15日は臨時休館したこともあり、2名のみと非常に低調でした。

「夏の自習室」は、高校生や大学生、社会人の方から受験や資格取得のために自習できる場所がほしいというご要望を受けまして、新たに中央公民館の一室を自習室として開放して実施した事業です。

<山崎廃寺ミニシンポジウム、西観音寺について>

委員

11月12日の山崎廃寺ミニシンポジウムに参加しましたが、本当に活発に意見を交わされていて、面白いなと思いながら聞かせていただきました。お互いに鋭く指摘しながらも、相手の意見も尊重しているというのがよかったなと思いまし

た。

歴史資料館から報告に掲載されている写真はどこでしょうか。

事務局

サントリー蒸留所の一番奥にある椎尾神社で、この場所がかつて西観音寺というお寺の本堂があったところです。現在は椎尾神社の建物になっています。

◎各委員が承認

5 その他

事務局

※ 以降の進行は事務局が担当

事務局から次の4件について報告

- ① 町議会定例会（9月）における一般質問・答弁について（生涯学習課関係）
- ② 町議会複合施設特別委員会（11月）における審議について
- ③ コミュニティスクールについて
- ④ 放課後マイプレイス事業計画（案）について

* 質疑応答

<放課後マイプレイス事業計画（案）について>

委員

放課後マイプレイスの事業実施日について、水曜日は午後3時から円明寺が丘自治会館で竹の子文庫が本を貸し出しており、子どもの取り合いになってしまうので、できるだけ水曜日は外していただけたらと思います

事務局

少しわかりにくいのですが、大山崎小学校は、水曜日以外は15時45分から、水曜日は15時から通常開室し、第二大山崎小学校は毎日15時半から通常開室する予定です。定期的に行なわれる教室については、大山崎小学校では開室時間の長い水曜日開催を予定しておりますが、第二大山崎小学校では竹の子文庫が活動されている水曜日を外し、火曜日に実施することを想定しております。

6 閉会あいさつ

副委員長